

3 費目別指数の動き

費目別に前年からの動きをみると次のとおりである。

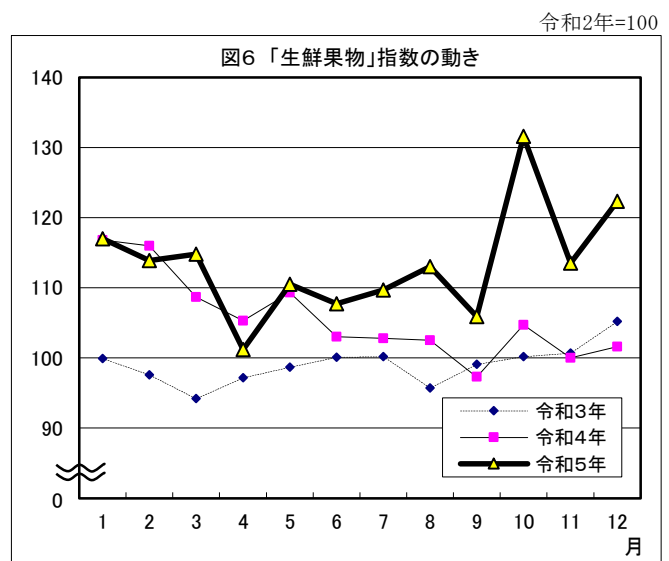
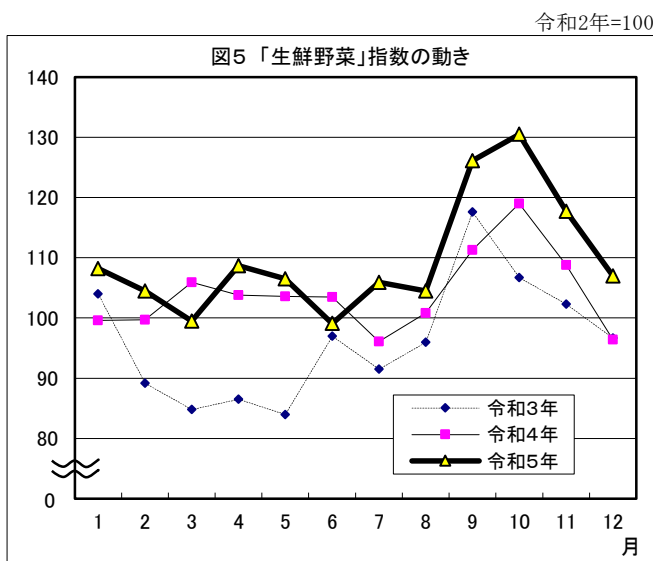
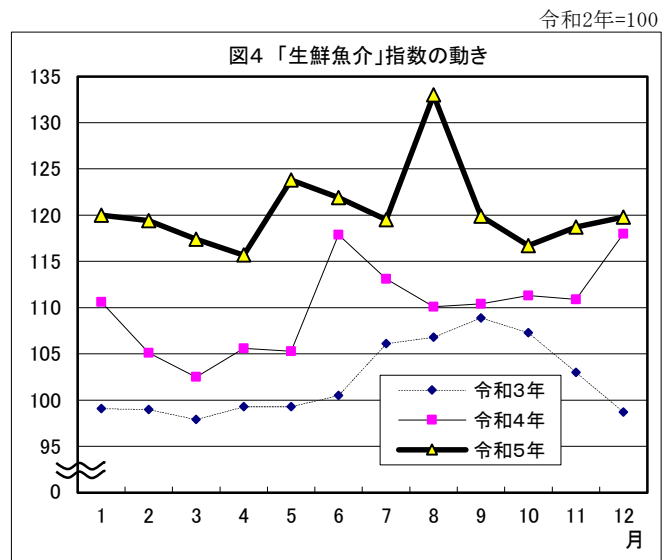
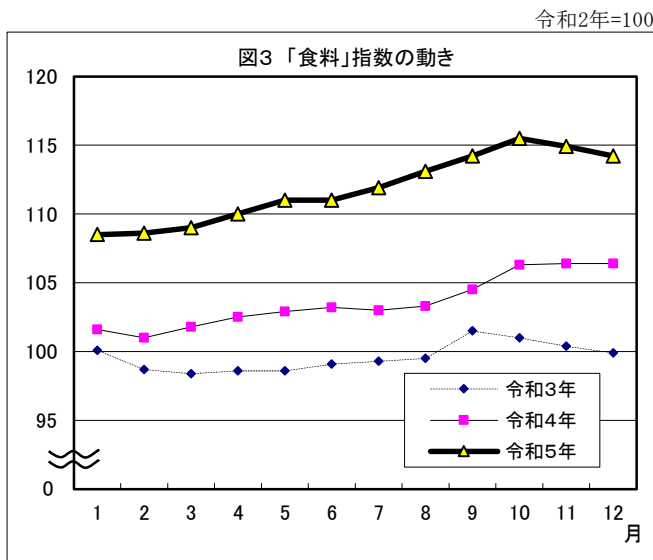
食 料

令和5年平均は111.8となり、令和4年平均に比べ(+) 8.0% の上昇となった。

内訳をみると、乳卵類(+) 19.9% 、菓子類(+) 10.4% 、魚介類(+) 10.0% 、油脂・調味料(+) 9.7% 、酒類(+) 9.6% 、穀類(+) 8.9% 、調理食品(+) 8.7% 、果物(+) 6.5% 、飲料(+) 6.5% 、肉類(+) 6.1% 、野菜・海藻(+) 5.1% 、外食(+) 4.5% とそれぞれ上昇した。

生鮮食品についてみると、生鮮野菜(+) 5.6% 、生鮮魚介(+) 9.5% 、生鮮果物(+) 7.3% となり、生鮮食品全体では(+) 7.2% の上昇となった。

※ なお、月々の動きはグラフのとおり。(以下同じ)

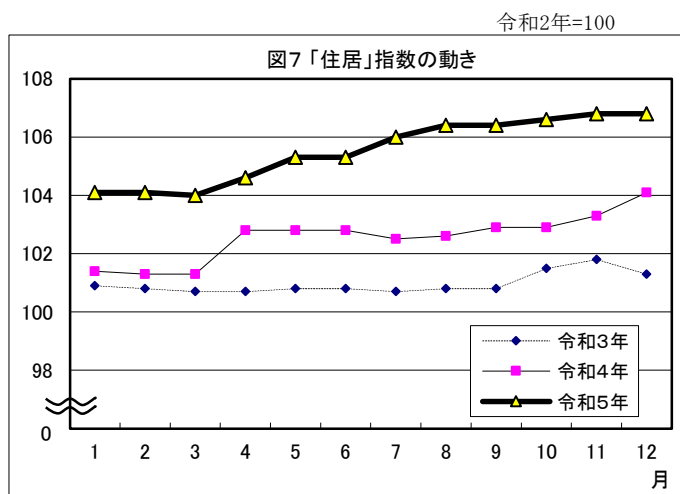


住 居

令和5年平均は105.5となり、令和4年平均に比べ(+) 2.9% の上昇となった。

内訳をみると、設備修繕・維持は(+) 16.8% の上昇となった。

一方、家賃は(-) 0.1% の下落となった。



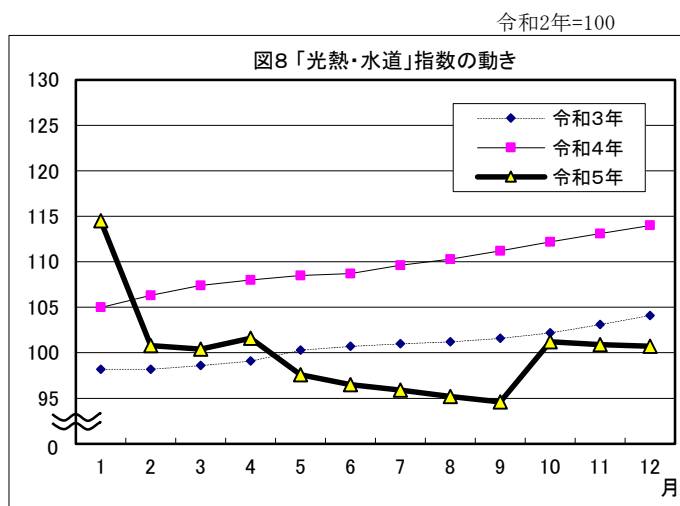
光熱・水道

令和5年平均は100.0となり、令和4年平均に比べ(-) 8.7% の下落となった。

内訳をみると、上下水道料、ガス代は変わらず。

電気代は(-) 16.6% の下落となった。

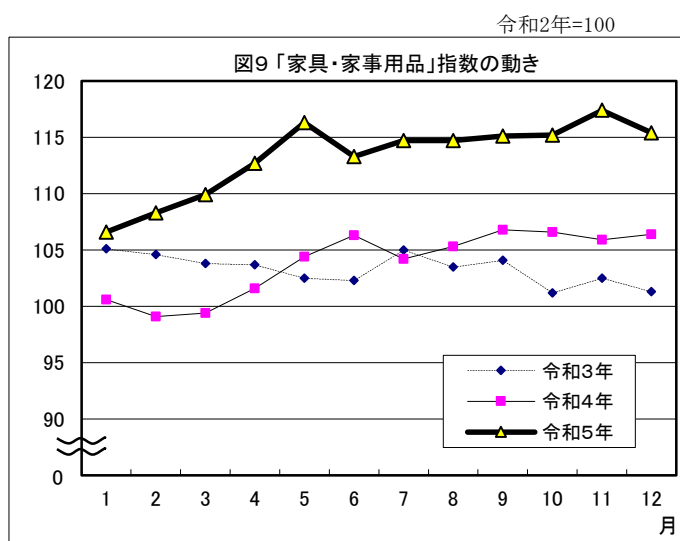
一方、他の光熱は(+) 2.7% の上昇となった。



家具・家事用品

令和5年平均は113.3となり、令和4年平均に比べ(+) 9.1% の上昇となった。

内訳をみると、家事用消耗品は(+) 14.9% 、家事サービスは(+) 11.2% 、家事雑貨は(+) 8.4% 、家庭用耐久財は(+) 6.4% 、寝具類は(+) 5.0% 、室内装備品は(+) 4.1% の上昇となった。

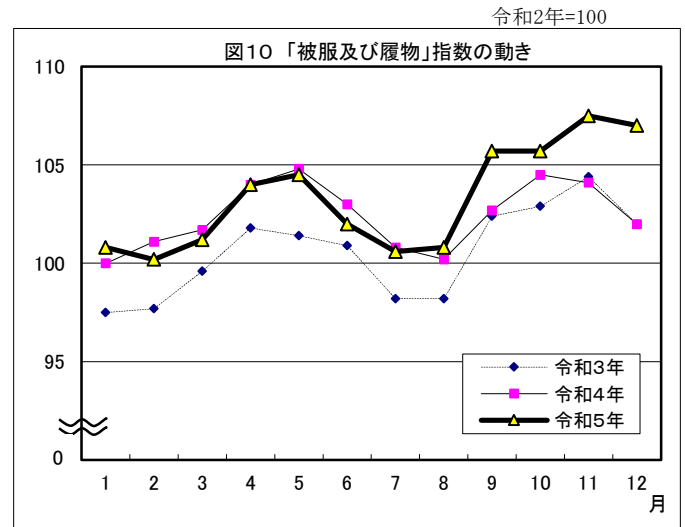


被服及び履物類

令和5年平均は103.3となり、令和4年平均に比べ(+) 0.9% の上昇となった。

内訳をみると、和服は(+) 6.1% 、下着類は(+) 5.1% 、被服関連サービスは(+) 2.9% 、履物類は(+) 1.7% 、シャツ・セーター類は(+) 0.9% の上昇となった。

一方、洋服は(-) 0.3% 、他の被服は(-) 0.4% の下落となった。

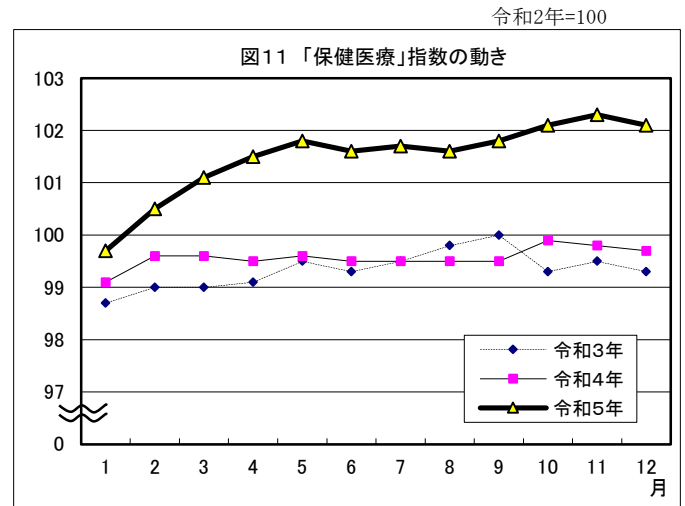


保健医療

令和5年平均は101.5となり、令和4年平均に比べ(+) 1.9% の上昇となった。

内訳をみると、保健医療用品・器具は(+) 7.2% 、医薬品・健康保持用摂取品は(+) 1.8% の上昇となった。

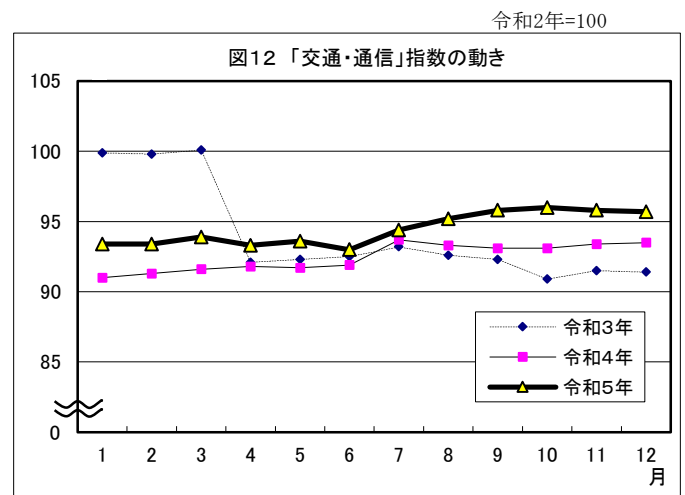
一方、保健医療サービスは(-) 0.1% の下落となった。



交通・通信

令和5年平均は94.5となり、令和4年平均に比べ(+) 2.2% の上昇となった。

内訳をみると、通信は(+) 6.5% 、自動車等関係費は(+) 0.9% 、交通は(+) 0.8% の上昇となった。

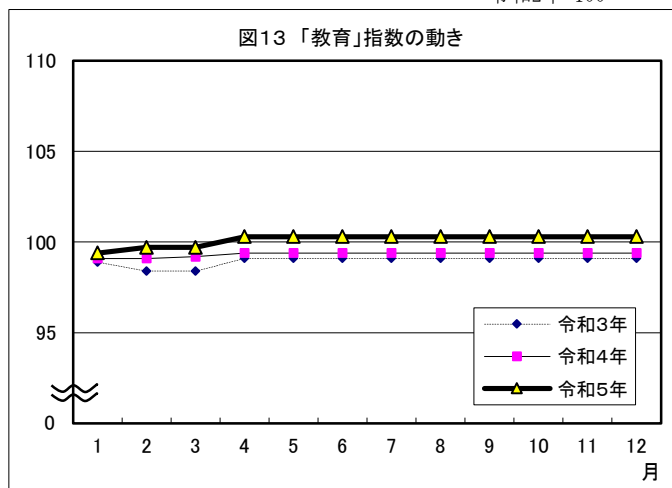


令和2年=100

教 育

令和5年平均は100.1となり、令和4年平均に比べ(+) 0.8% の上昇となった。

内訳をみると、補習教育は(+) 1.5% 、教科書・学習参考教材は(+) 1.3% 、授業料等は(+) 0.4% の上昇となった。

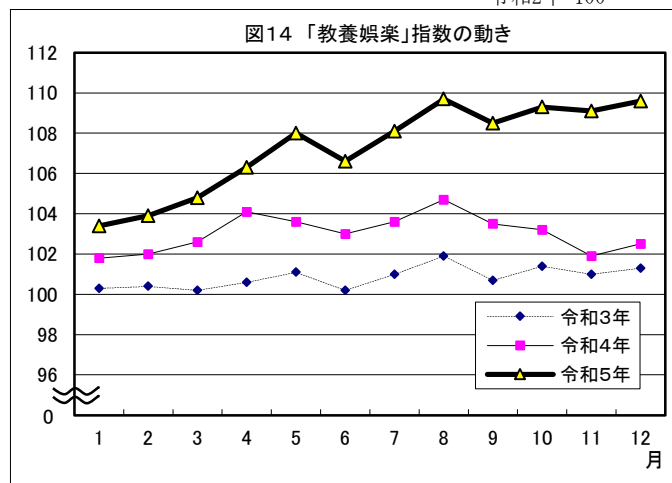


令和2年=100

教 養 娯 楽

令和5年平均は107.3となり、令和4年平均に比べ(+) 4.1% の上昇となった。

内訳をみると、書籍・他の印刷物は(+) 6.3% 、教養娯楽用品は(+) 5.1% 、教養娯楽サービスは(+) 3.5% 、教養娯楽用耐久財は(+) 1.8% の上昇となった。



令和2年=100

諸 雑 費

令和5年平均は105.6となり、令和4年平均に比べ(+) 2.9% の上昇となった。

内訳をみると、身の回り用品は(+) 9.1% 、理美容用品は(+) 3.2% 、理美容サービスは(+) 2.0% 、他の諸雑費は(+) 1.6% 、たばこは(+) 0.5% の上昇となった。

